

## 本時のねらい

・Lesson1、2 で学習した文法や英単語を用いて、自身のことを以前より詳しく紹介することができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・英作文をする際にオンラインの和英・英和辞書を使用し、わからない単語等を各自で調べる。
- ・英作文では、タブレットの活用で既習の語彙にこだわらず自由な表現を選択させることにより、単元の枠を越えた英単語に触れさせ、自己表現を楽しめるように取り組ませる。
- ・英単語の検索や、英文でパワーポイントを作成させることで、ローマ字や英単語に慣れ、定着をはかる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・インターネットエクスプローラー（検索） ・パワーポイント ・大型提示装置 ・Microsoft Teams

## 本時の展開（全3時間計画：2時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあて、流れについての説明</li> <li>・自己紹介や評価の観点についての説明</li> <li>・自分の名前、出身、好きなこと、得意なこと、苦手なこと、この5つを必須項目とした。</li> <li>・自己紹介の作成にあたって、最初に日本語で紹介したいことを記入してから、英文の作成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teamsに見本のパワーポイントや検索サイト（和英・英和辞書）を投稿しておくことで、困った時に参考にできるため、安心して作成することができる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介の英作文の作成</li> <li>・自己紹介作成にあたって、わからない単語はオンライン英辞典など、インターネットで調べる。</li> <li>○パワーポイントを使って自己紹介のスライドを作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで単語の意味を調べることで、同じ意味でも単語の選択肢が広がり、発展的な学習へとつながる。</li> <li>・内容に合わせて写真・イラストなどの画像を貼り付け、よりイメージしやすいオリジナルのスライドを作成するように促す。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作成したパワーポイントをTeamsのファイルに提出</li> <li>○次時の発表の流れを確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間内に完成していない場合は、Teamsで家庭からも提出できることにより、家庭学習ともつなげ意欲を継続させることができる。</li> <li>・Teams内のパワーポイントをスライドショーにして発表する。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：自己紹介用のパワーポイントを作成している場面



写真2：自己紹介のスライドを使って発表している場面

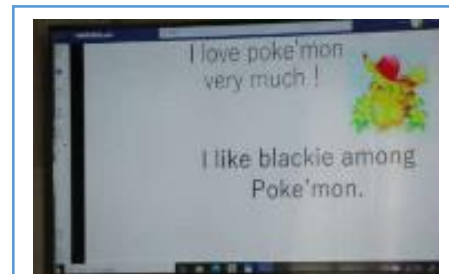


写真3：パワーポイントに工夫を取り入れて大型提示装置に映している場面

## 児童生徒の反応や姿容

- ・キーボードを使って入力することが苦手な生徒や、操作方法が分からず困っている生徒がいたときに、サポートする生徒の姿が多く見られた。また、取り組みを進める中で徐々に、生徒どうしでの教え合いも始まり、想定以上に作成への意欲が継続していた。
- ・普段、プリントや辞典等だけでは諦めてしまう生徒も、わからない単語や言い方があっても気軽にインターネットで調べられたり、容易に修正できたりすることで、意欲的に取り組む生徒が増え、今回の「紹介する」という目的に向かって積極的に工夫する姿が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・端末を使ったことで1度作成したスライドでも、気になる点や変更したい部分を、いつでも簡単に編集して自分のイメージを反映させることができるので、最後まで学習意欲が継続する生徒が多かった。また、英単語をインターネットで調べる活動を、辞書引きよりも容易に感じる生徒が多かった。